

今年も文化財ウィークの季節がやってきます。

この文化財ウィーク、今年でもう8回目になりますが、まだまだ「知らなかった!」という声をいただきます。

そこで...



文化財ウィークってなんだろう？

文化財ウィークは、文化財を身近に感じていただくためのイベントで、公開事業と企画事業の二本立てで行っています。

文化財というと、京都や奈良、博物館などに行かなければ見られない、と思いこんでいませんか？でも実は、あなたのすぐ近くに、意外な文化財があるものなのです。そこでは、歴史の重厚さに驚き、文化に感嘆し、美しさに魅せられるはず。そんな身近な発見と感動を、文化財ウィークをとおして体験してみたいはいかがでしょうか。

文化財ウィーク 2006 ガイド



掲載

掲載

文化財公開事業



期間:11月3日(金・祝)~11月12日(日)

文化財を「見る」。

都内の文化財を一斉に公開します。

文化財ガイドには、期間中公開される都内の300もの文化財が掲載されます。近所の文化財を訪ね、自分のまちの歴史に思いを馳せるのもよし、小旅行をかねて文化財に接するのもよし、お好み次第です。あなたなりの、歴史と文化に触れあう時間を計画してみたいは。



今回のおすすめは？

2005年12月、新たに重要文化財に指定された「旧沢沢家飛鳥山邸 晩香廬、青淵文庫」(北区西ヶ原2-16-1)が初参加です。



文化財関連企画事業

期間:10月1日(日)~11月30日(木)

文化財を「めぐる」。

文化財や、それに関連した場所などを訪ねる企画です。

文化財を「学ぶ」。

文化財関連の特別展や、講座・講演会などが行われます。

文化財を「体感する」。

見て聴いて触れて、五感で歴史と文化を感じられる企画が満載。



これらの情報は「文化財ウィークガイド」に掲載されます。

9月下旬に都立施設や各区市町村教育委員会、郷土資料館等で配付を予定しています。文化財ウィークを楽しむための必須ガイドです。「文化の秋」のお供には是非どうぞ。

また、東京都教育委員会ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/> でも情報を提供しています。

◆ 編集後記 ◆

今回は日本ウォーキング協会の村山友宏先生に原稿を書いていただきました。

秋の過ごしやすい季節には、ウォーキングがてら文化財を見にいきませんか？

平成18年8月31日

発行 東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6862